

織田製菓専門学校 自己点検評価報告書

1. 学校の理念と教育目標

本校は、製菓に関する技術と知識の習得及び社会人としての常識を兼ね備えた人材を育てることを目標とし、その為に学生が自ら学ぶ姿勢を引き出すことを教育理念としている。

2. 本年度、重点的に取り組んだ目標及び計画等

単に与えられたことをするのではなく、学生自ら「気づき」「行動する」という、就職を意識した実践的授業に取り組んだ。

3. 評価項目の達成及び取組状況

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切・未実施…1 該当しない…*

(1) 教育目標・理念

評価項目		評価
1	理念・目標・育成人材像は、定められているか	4
2	学校における職業教育の特色が明確になっているか	4
3	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4
4	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・関係業界・保護者等に周知されているか	3
5	各学科の教育目標・育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 評価について

項目	コメント
	実習中心、少人数制の授業により、本校の教育理念である「学生が自ら学ぶ姿勢」を育成している。また、就職指導を広義にとらえ、社会人としてのマナー教育を実践している。

② 課題と今後の対応について

項目	課題と対応
	本校の教育理念や目標が、全ての保護者に周知徹底されていない点が課題である。今後、保護者への周知をはかり、就職に向けて連携をとっていきたい。

(2) 学校運営

評価項目		評価
1	教育理念・目標に沿った運営方針が策定されているか	4
2	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
3	運営組織や意志決定機能が規程等において明確化されているか。 また、規程などが、有効に機能しているか	4
4	人事、給与に関する制度は整備されているか	3
5	教務・財務等組織整備などの意志決定システムは整備されているか	4
6	学校運営におけるコンプライアンス体制が整備されているか	4
7	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 評価について

項目	コメント
	学校の教育目標実現の為、専任教員と講師が連携を図り取り組んでいる。また、中期・長期の事業計画に基づいて学校運営がなされており、各教職員の役割に応じた意志決定が円滑に行われている。

② 課題と今後の対応について

項目	課題と対応
	教職員の勤務年数や職務内容に応じた人事体系や、昇進・昇給の仕組みを制度化する必要がある。人事考課や査定が形骸化することのない様していかなければならない。また、教職員の高齢化対応も課題のひとつである。

(3) 教育活動

評価項目		評価
1	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	教育カリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立って、カリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
5	産学連携して、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
6	実践的な職業教育(産学連携教育、インターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価を実施し、その評価体制はあるか	3
8	教育内容に関し、外部関係者からの評価・助言を取り入れているか	4
9	授業内容、授業計画を作成、周知し、その進捗管理がおこなわれているか	4
10	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
11	資格取得の指導体制がカリキュラムの中で体系的に位置づけられているか	3
12	教育目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
13	関連分野業界との連携に優れた教員を確保するマネジメントが行われているか	4
14	教員に対し、専門の知識・技能等修得するための研修や指導力育成など資質向上のための研修が計画的に行われているか	2
15	職員に対し、能力開発のための研修等が行われているか	2

① 評価について

項目	コメント
	本校では、現場経験豊富な講師による実践的職業教育を実施している。資格取得者が必ずしも優れた技術者とは限らないとの考え方から、資格の中でも特に製菓業に必要不可欠のものに特化し、資格取得を目指している。このための学習は、年間カリキュラムの中に組み込まれている。

② 課題と今後の対応について

項目	課題と対応
	専門教育を行うにふさわしい力をつけるため、教員自身が内外の研修会に参加できる環境を作っていかなければならない。 授業評価については、今後、客観的体系的な評価のための指標を作成していく。

(4) 学修成果

評価項目		評価
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	※
3	退学率の低減が図られているか	4
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
5	卒業後のキャリア形成の状況を把握し、学校の教育活動の改善に活用しているか	4

① 評価について

項目	コメント
	製菓業界で働く講師からの、卒業生情報が多い。同一職業分野で、キャリアアップのために転職している例が多く、卒業生が業界で活躍し続けていることが伺える。 また、年1回のジャパンケーキショーで、卒業生の多くが入賞しており、業界に於ける本校卒業生の評価は高い。 在校生に対しては、職員全員が情報を共有し、退学などに至らない様になっている。

② 課題と今後の対応について

項目	課題と対応
	就職率の向上を図る為、更なる個別対応の充実を課題とする。 また、就労意欲のない学生をゼロにすることが、当面の目標である。幅広い地域での新たな求人先の確保も課題である。

(5) 学生支援

評価項目		評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生からの相談に対応する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的支援体制は整備されているか	3
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5	学生のメンタルヘルスを担う組織体制はあるか	4
6	課外活動に対する支援体制は整備されているか	※
7	学生の生活環境への支援体制は整備されているか	4
8	保護者と適切に連携しているか	3
9	卒業生への支援体制はあるか	4
10	社会人のニーズを踏まえた教育に取り組んでいるか	3
11	高校・高等専修学校等と連携してキャリア教育・職業教育に取り組んでいるか	4

① 評価について

項目	コメント
	就職支援は、就職担当教員・担任・実習教員の三者の連携により、情報共有しながら行っており、必要に応じて保護者とも相談している。 また、メンタルに関する相談は、学園契約の専門機関に於いてケアできている。

② 課題と今後の対応について

項目	課題と対応
	経済支援に関しては、各種奨学金や金融機関の紹介などの「助言」にとどまっており、それ以上の積極的な支援までは及んでいないのが現状である。

(6) 教育環境

評価項目		評価
1	施設・設備は、教育の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2	学外の実習機関、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	4

① 評価について

項目	コメント
	施設・設備は、新実習棟の完成により、更に充実し素晴らしい教育環境が整った。 また、海外研修時の実習も、毎年レベルアップしており、研修の意義が大きい。

② 課題と今後の対応について

項目	課題と対応
	災害備蓄品の確保は出来ているが、「中野」という地域性による避難経路の確立が今後の課題である。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目		評価
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4
2	学生募集活動において、教育内容・成果は正確に伝えられているか	3
3	学納金は妥当なものとなっているか	4

① 評価について

項目	コメント
	高校生のニーズに合わせ、スマートフォンを活用した募集案内に力を入れている。また、作品展を通して、日頃の教育成果を伝えている。 学納金の納入には、分割制度の他、分納・延納など各種納入方法を設け、保護者の便宜を図っている。

② 課題と今後の対応について

項目	課題と対応
	高校とのパイプを太くするための広報の在り方を考えることや、高校の家庭科授業やクラブ活動を通して、高校との教育連携を図っていく。 今後、18歳人口が減少することから、これまでの新卒中心の募集活動から、社会人・留学生募集も見据えていかなければならない。

(8) 財務

評価項目		評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開に体制整備はできているか	4

① 評価について

項目	コメント
	消費支出の中では人件費の割合が大きいですが、講師起用により、その時代の有能な人材を確保できるとともに、固定費削減にもなっている。

② 課題と今後の対応について

項目	課題と対応
	学生募集を円滑にし、収入の安定性を確保することが課題である。 ただ学納金に依存するだけでなく、将来的には附帯事業の実施にも目を向けていかなければならない。

(9) 法令等の遵守

評価項目		評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
4	自己評価結果を公開しているか	1

① 評価について

項目	コメント
	学生および教員の個人情報の管理は、担当者を決め管理体制を一本化している。 新入職員に対しては、個人情報・法令順守の教育を行っている。

② 課題と今後の対応について

項目	課題と対応
	今回、自己点検を実施し、今後は各項目ごとの課題に前向きに取り組んでいく。 個人情報管理については、事務局との横の連携をとっていく。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目		評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
2	学生のボランティア活動を奨励、支援してるか	1
3	地域や地方公共団体と連携し、受託等を積極的に実施しているか	3

① 評価について

項目	コメント
	中野地域で行っている活動に参加している。 日常的には、学生の販売実習を通して、地域の方々との交流を深めるとともに、地域の方々に学生が育てて頂いているという認識である。

② 課題と今後の対応について

項目	課題と対応
	学生のボランティア活動に関しては、個人的に行っている学生を把握しているが、学校側から奨励・支援する機会はなく、今後の課題である。

(11) 国際交流

評価項目		評価
1	留学生の受入れについて、計画的な管理運営がなされているか	4
2	受入れ、在席管理等において適切な指導、手続き等がとられているか	4
3	学習成果が国内外に評価される取組を行っているか	※
4	国際交流を推進する体制は整備されているか	※

① 評価について

項目	コメント
	留学生には、日本語検定による規定を設けているほか、本校独自の日本語試験を実施し、入学目的や意識を確認したうえで、入学を許可している。 入学後は、出席管理を厳格にし、留学生の目的が達成できる様、支援している。

② 課題と今後の対応について

項目	課題と対応
	卒業した留学生が、母国で開店するだけでなく、マスコミに取り上げられているなど、帰国後活躍していることは承知しているが、それに対して学校が積極的に関与しているとは言い難い。 留学生が帰国してからも、何らかの支援をすることが望ましいと考える。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

学生への対応は概ね達成されているので、今後の課題は、教える側にある教員の育成に力を注ぐこと・社会貢献・地域貢献など、外に向かった活動を広げていく事が今後の課題となる。この2点を重要課題として、職員全員で取り組んでいく。